



2011.12.13. No.1026.

ご相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970
FAX さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>



「大地を汚した東電は、
許さない。」
今号の裏面には、
「しんぶん赤旗」日曜版(12/11付)
1めんをのせています。

給食食材の測定器5台の購入へ 都が国に申請したことがわかりました。

- 都は、1台250万円の測定器を5台購入して、今後、23区と連携しながら活用していくと決めた。
- 12/24、北区議会の共産党・福島宏紀区議の代表質問で、「北区としても学校給食の測定」と求めてきました。12/2の防災特別委員会の陳情審査の中で、北区は都と連携し、給食の測定を実施する方向性を明らかにしていました。
- こうした動きの中で、12/9、都が国に対して申請したことが確認されました。

都はもっと積極的なとりくみと 北区として、5,300筆の署名にこたえよ

- 今議会(12/6開会)には、「北区子どもと放射線から守る会」などから、給食食材の測定を求める陳情が3つ、5,300筆を超える署名とともに提出されました。
- 防災対策特別委員会(さがらとしこ副委員長)では、共産党の山崎たけ子委員が「親たちの不安にこたえて、一日も早く、北区としても給食のリスク管理にふみだすとき」と、陳情の採択を主張しました。
- 党都議団も11月30日の文教委員会、12月7日の本会議代表質問など、くり返し、都に要請してきました。内部被ばくから、子どもたちと区民を守るため、とりくみの強化を求めてゆきましょう。

放射能による健康への影響と 日々の食生活の工夫など... 家庭栄養研究会・食べも通信などが DVD(23分)を制作し普及

免疫力を上げる食べ方で 放射能に負けない!

福島第一原発事故で、放射能汚染が拡大。食物連鎖を通して内部被曝の危険に直面しています。今すぐ急がれるのは、被曝にもっとも弱い子どもたちを守ること。ヒロシマ・ナガサキとチェルノブイリの悲惨な実態を教訓に、放射能による健康への影響をわかりやすく紹介。被曝を少しでも減らすために、日々の食生活の工夫と、これからも続く汚染に負けないために、免疫力を上げる食べ方・暮らし方を提案しています。



私は、11-26 沢岡集会の中でこのDVDと出会いました。おすすめします。さがらとしこ



- 主な出演者(登場順)
- 児玉 龍彦 東京大学アイトープ総合センター長
 - 肥田 舜太郎 全日本民医連顧問
 - 菅谷 昭 チェルノブイリ医療支援医師・松本市長
 - 丸森 あや 放射能市民測定所理事長
 - 八田 純人 農民連食品分析センター所長
 - 落合 恵子 作家(9・19 さようなら原発集會発言)ほか



3-11から9ヵ月だが 3ヵ月半後の福島・須賀川市では...

- 市役所は倒壊し、今も何か所にも分散避難中だ。
- お盆に、福島のお義母を訪ねてから、3ヵ月半たってしまいました。90歳を超えてのひとりぐらしは、1人暮らしです。しかし、「嫁入りしてから75年も守ってきた家を離れるわけにはゆかない」と、畑でホウレン草などを作りながら、がんばっています。頭が下がります。とはいえ、庭の放射線量は、北区のめやすの5倍以上ですが、除染は手つかずのまま、胸が痛む時。